

災害時における避難行動に関する住民アンケート調査結果について

1 調査目的

長野県内において、平成 30 年 7 月から 10 月にかけて、豪雨や台風などにより多くの市町村から避難勧告等の避難情報が発令されました。

本調査は、避難情報が住民の避難行動にどのような影響を及ぼしたかなどを明らかにし、今後、関係行政機関が対応すべき事項を検討することを目的としています。

2 調査方法

(1) 調査主体：長野県危機管理部危機管理防災課

(2) 調査手法：郵送配布・調査票自己記入・郵送返却

(3) 調査地域等：

調査地域	地域特性		対象世帯	対象人数
A 地域	山間部で集落が点在	近年死者を伴う 災害発生なし	100 世帯	100 名
B 地域	山間部で集落が密集	近年死者を伴う 災害発生あり	28 世帯	75 名

(4) 調査対象：調査地域の 18 歳以上の成人男女

(5) 調査時期：平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月

3 回答数

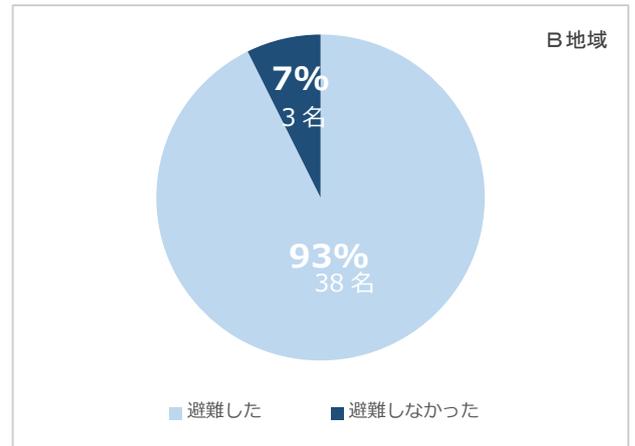
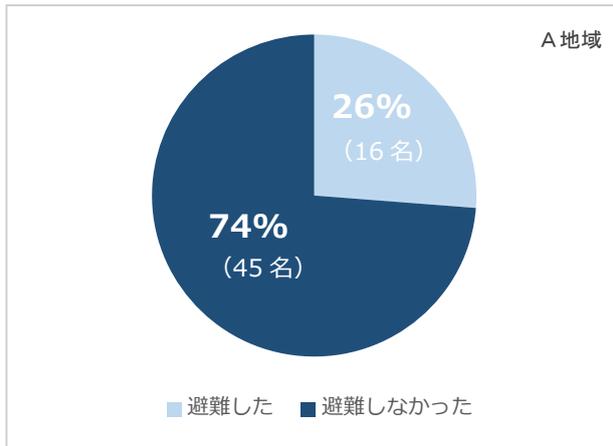
(1) 発送数：175 通

(2) 回収数：102 通 (58.3%)

調査地域	発送数	回収数	回収率
A 地域	100	61	61.0%
B 地域	75	41	54.7%

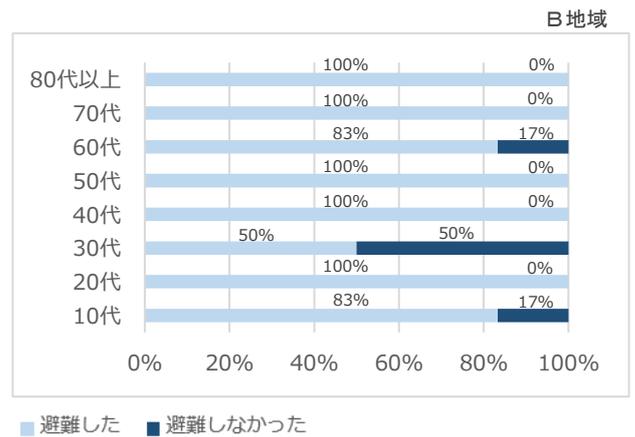
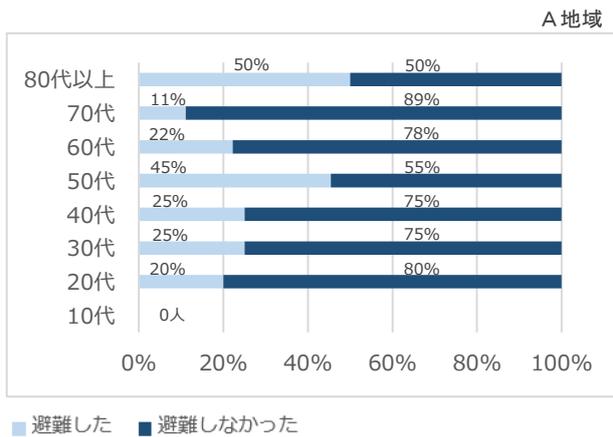
4 調査結果

(1) 避難行動の有無（屋内避難を含む）



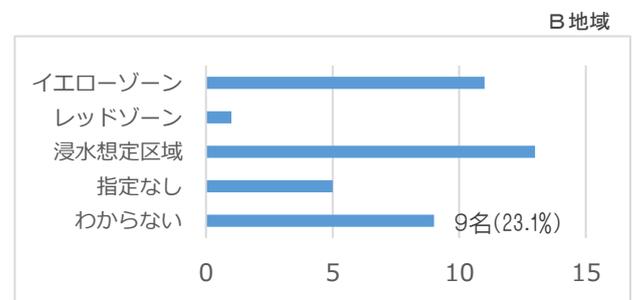
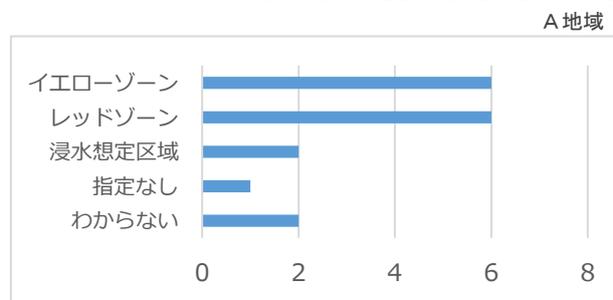
- ・ A 地域で避難行動を行なった者は、3 割弱であった。
- ・ B 地域では、9 割以上の者が避難行動を行なった。

(1-1) 避難行動調査回答者の年齢構成

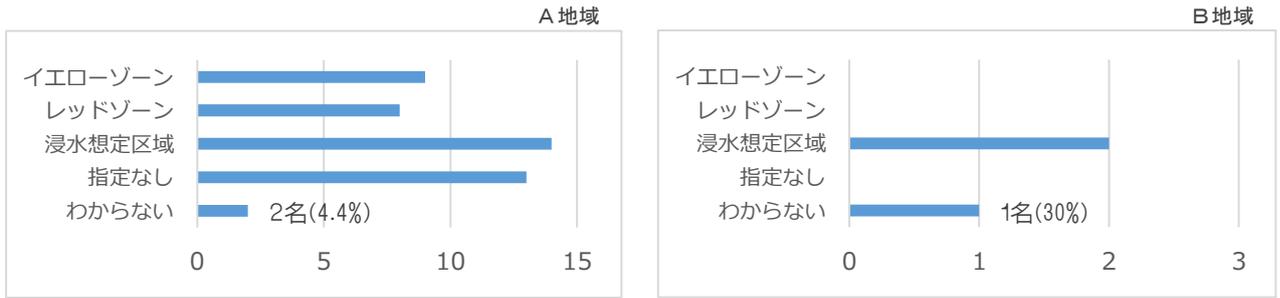


- ・ いずれの地域も避難行動の有無に、年齢層による違いは見られない。

(1-2) 避難した人の区域指定状況（複数回答）

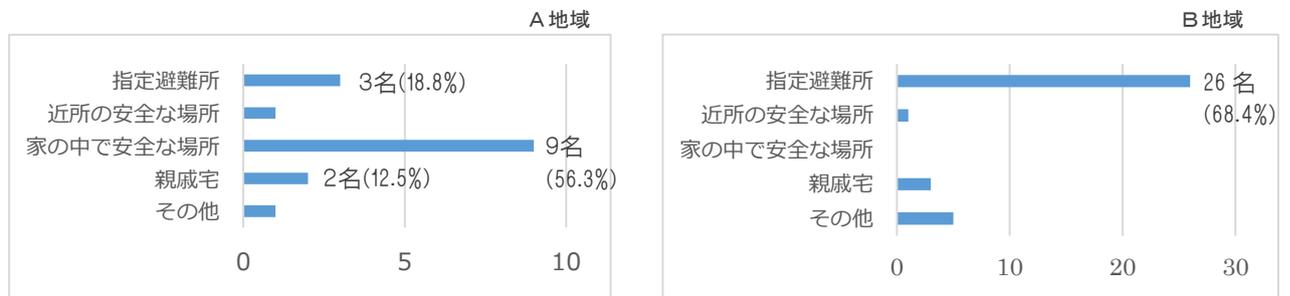


(1-3) 避難しなかった人の区域指定状況（複数回答）



・いずれの地域も土砂災害及び浸水害の区域指定状況について、一定の認識をもっているが、指定を受けている地域の居住者にも避難しなかった者が相当数いることから、区域指定は避難行動に直接的な影響を及ぼすことは認められない。

(1-4) 避難した人の避難先



※その他回答の具体的な場所：

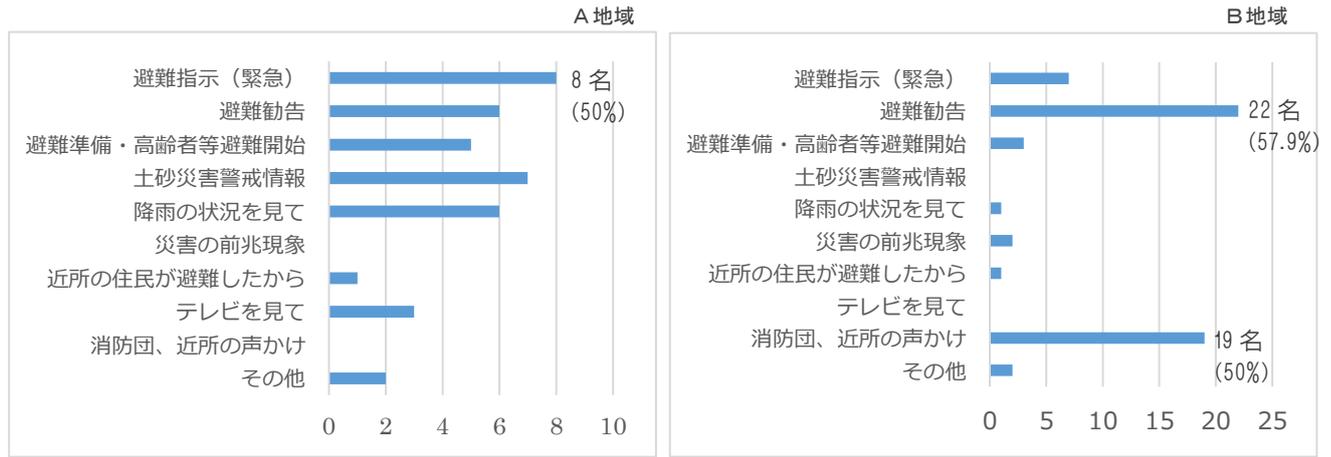
- ・自治振興センター

※その他回答の具体的な場所：

- ・地域の集会所
- ・職場から帰らずホテルに宿泊

・ A地域では、6割弱の者が「屋内の安全な場所」へ避難した。
 ・ B地域では、全ての者が「指定避難所」など、自宅から立退き避難した。

(1-5) 避難した人の避難のきっかけとなったものは（複数回答）

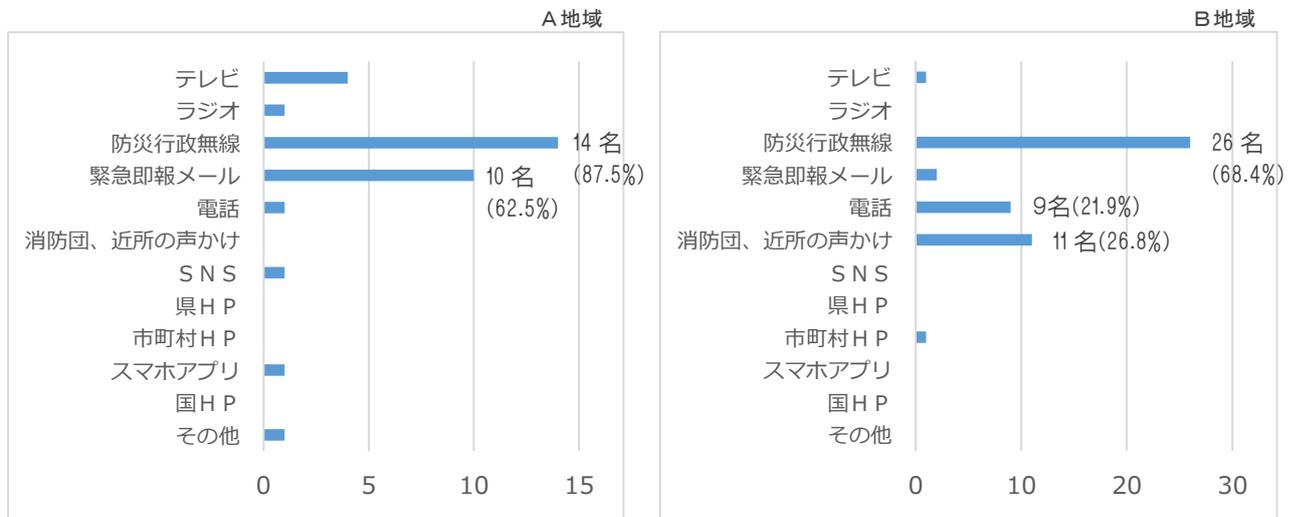


※その他回答の具体的なきっかけ：
・自宅周辺の状況目視判断

※その他回答の具体的なきっかけ：
・家族からの連絡

- ・ A地域では、「避難情報」とともに、「気象情報」及び「降雨状況」などの情報が避難のきっかけとなっていた。
- ・ B地域では、「避難情報」とともに、「消防団、近所の方などの直接的な声かけ」が、避難のきっかけとなっていた。

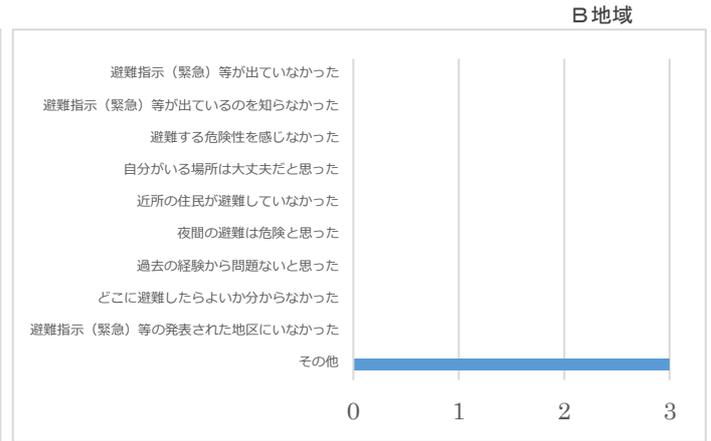
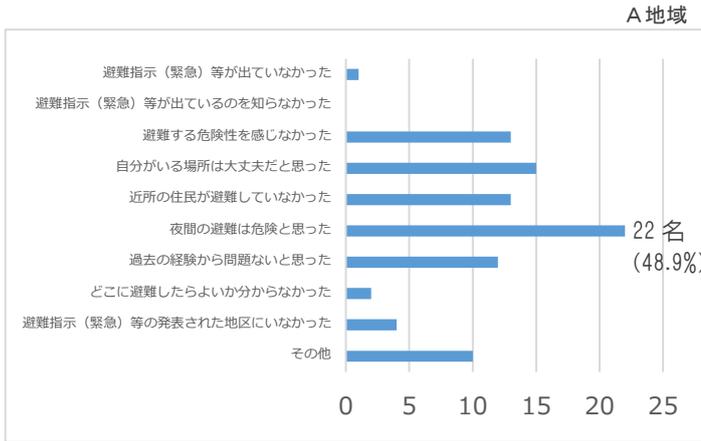
(1-6) 避難した人のうち、避難情報の入手方法は（複数回答）



※その他回答の具体的な情報の入手内容：
・自宅周辺の状況を目視判断

- ・ いずれの地域も、避難した者が入手した避難情報の多くは、「防災行政無線」であった。
- ・ A地域で避難した者は、防災行政無線とともに、「緊急速報メール」を避難情報として入手している割合が高い。
- ・ B地域で避難した者は、防災行政無線とともに、「電話」や「消防団・近所の方などの直接的な声かけ」により、避難情報が伝達されている割合が高い。

(1-7) 避難しなかった理由（複数回答）



※その他具体的理由

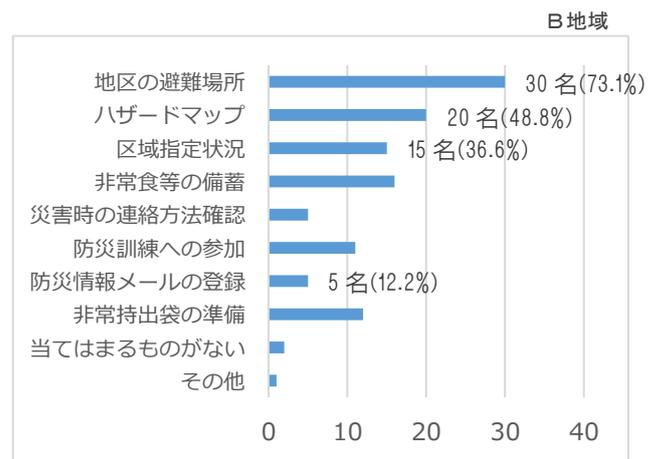
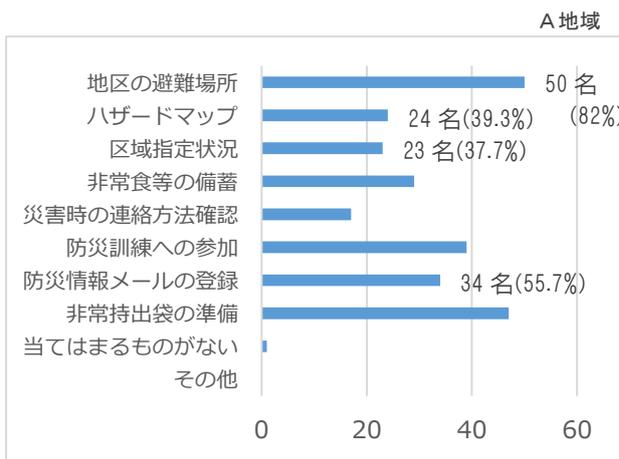
- ・ 子供を連れて暴風雨の中を移動するのが危険
- ・ 避難情報がオオカミ少年になっている
- ・ 危機感を感じない
- ・ 避難行動自体が高齢者に負担
- ・ 避難場所が家の近くで安全でもないから
- ・ 避難所へ向かう道中が危険と判断した
- ・ 避難場所が遠すぎる

※その他具体的理由

- ・ 仕事などで家にいなかった

- ・ A地域では、5割弱の者が「夜間の避難は危険と思った」と回答している。
- ・ A地域では、「避難する危険を感じない」「自分がいる場所は大丈夫だと思った」「過去の経験から問題ないと思った」と、これまでの経験などに基づき避難の判断をしている者が一定数回答している。
- ・ A地域では、「近所の住民が避難していなかった」と一定数が回答している。

(2-1) 日頃から知っていること、準備していること（複数回答）

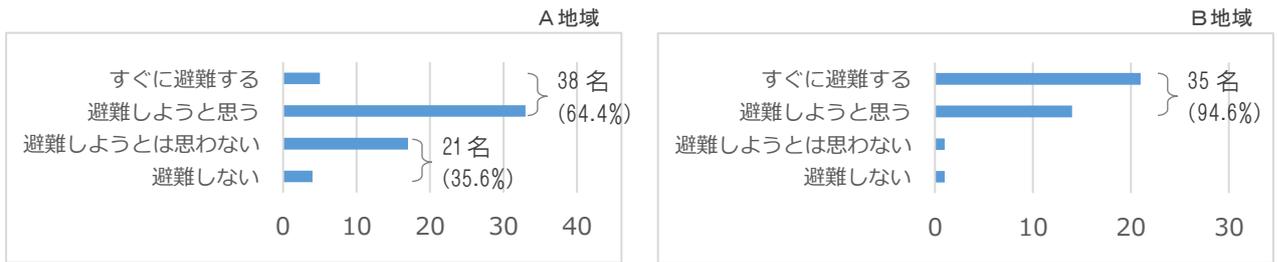


※その他具体的事項

- ・ 簡易雨量計を設置し毎日観測。
(自主避難基準を決めている)

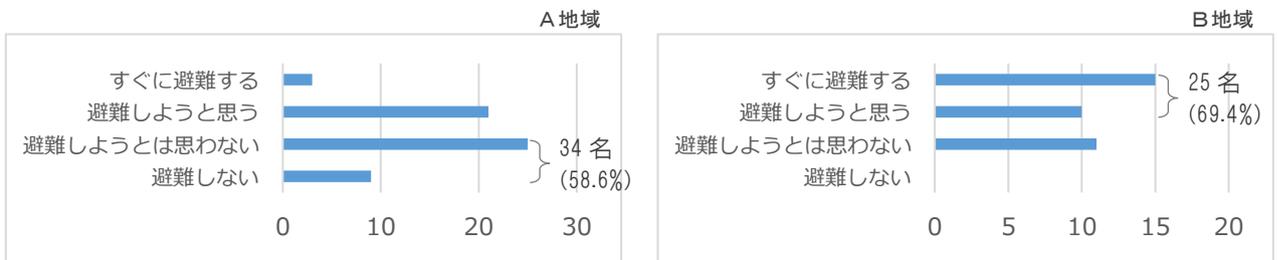
(2-2) 避難に関する意識

1) 「避難指示（緊急）」が発令されたら、避難行動を行ないますか。



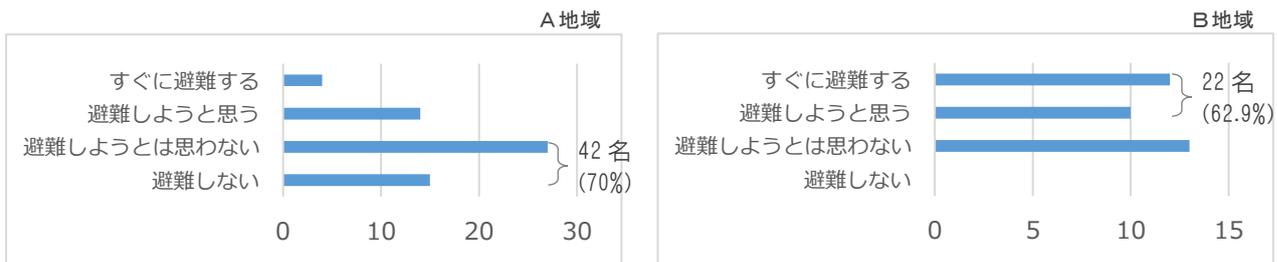
- ・ A地域では、避難指示で「避難しようと思う」割合が高いが、B地域では「すぐに避難する」割合が高い。
- ・ A地域では、3割を超える者が「避難しようと思わない」、「避難しない」とっており、B地域と比べ避難指示で避難行動を行なわない割合が高い。

2) 「避難勧告」が発令されたら、避難行動を行ないますか。



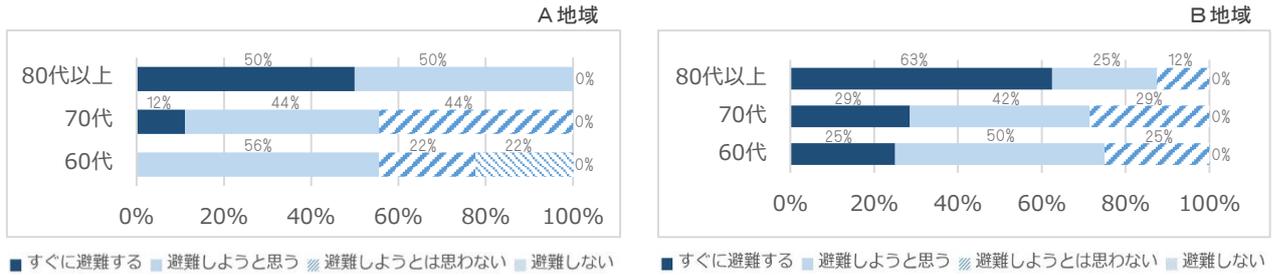
- ・ A地域では、6割弱の者が避難勧告で「避難しようと思わない」、「避難しない」と思っているのに対し、B地域では7割弱の者が「すぐに避難する」、「避難しようと思う」と思っている。

3) 「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたら、避難行動を行ないますか。



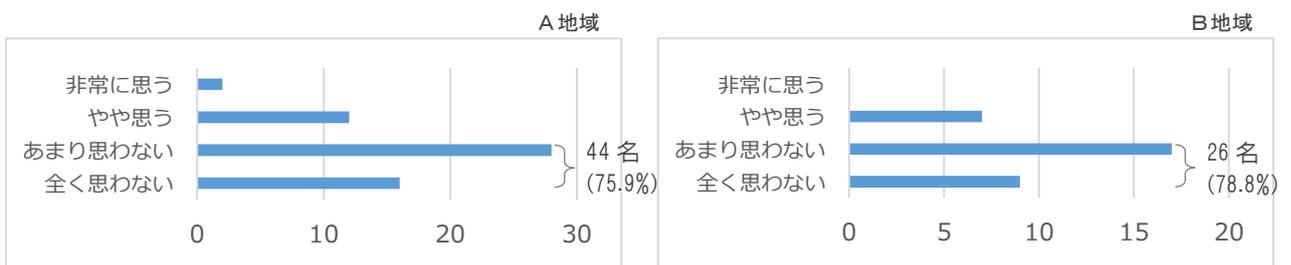
- ・ (2-2) 2)と同様な傾向である

3-1) 3) 回答者の高齢者の年齢構成



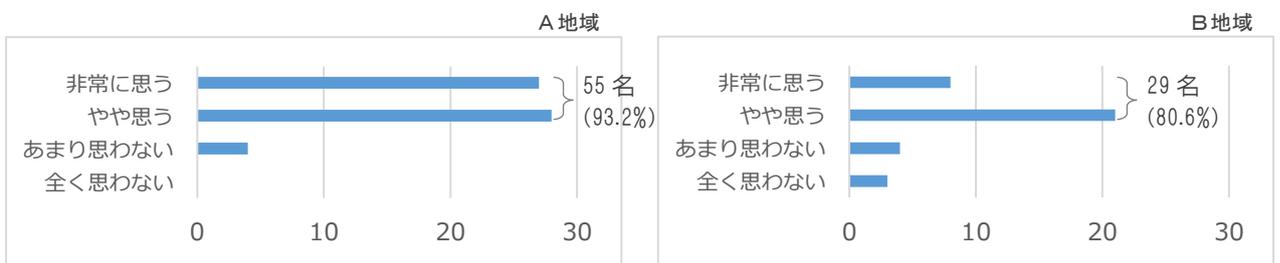
・いずれの地域も、5割以上の高齢者が、「避難準備・高齢者等避難開始」で避難行動を行うと思っている。

4) 避難して、何もなかったら無駄になったと思いますか。



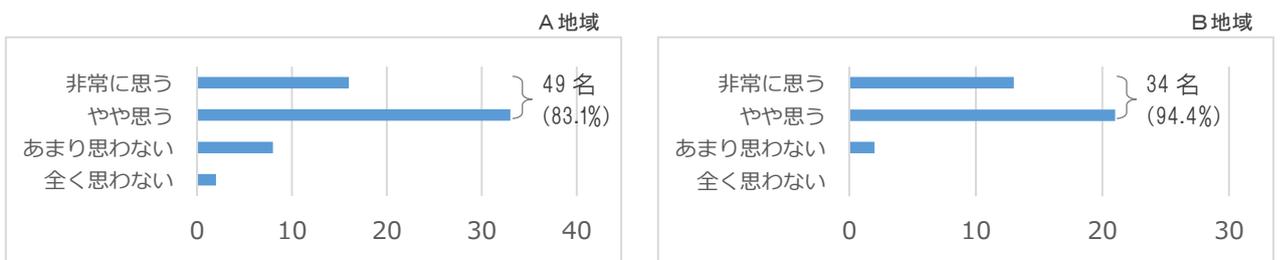
・いずれの地域も、7割以上の住民が、「避難して何もなくても無駄」と思っていない。

5) 夜間に避難することをためらいますか。



・いずれの地域も、8割以上の住民が、「夜間に避難」することを、ためらうと思っている。特に、A地域の方が「非常に思う」割合が高い。

6) 周りの人が避難したら、避難しようと思いますか。



・いずれの地域も、8割以上の住民が、「周りの人が避難したら避難」しようと思っており、周囲の行動による影響が伺える。

7) 家族や知人、消防団員など信頼できる人に避難を促されたら避難すると思いますか。



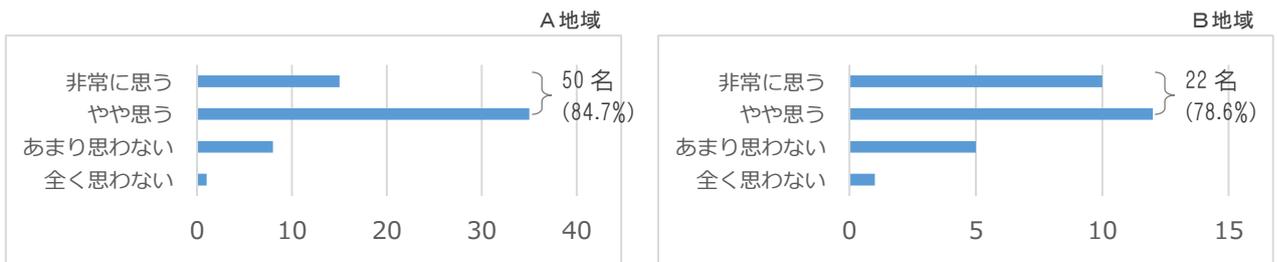
・いずれの地域も、9割以上の住民が、「家族や知人、消防団員など信頼できる人に避難を促されたら避難」しようと思っている。

8) 指定されている避難所（避難場所）は、適切だと思いますか。



・A地域では、6割程度の者が「指定されている避難所（避難場所）」が適切と、「あまり思わない」「全く思わない」としており、「あまり思わない」割合が高い。
 ・B地域では、7割程度の者が「指定されている避難所（避難場所）」が適切と「やや思う」「非常に思う」っており、「やや思う」割合が高い。

9) 家庭で決めた「行きやすい安全な避難場所」なら避難すると思いますか。



・いずれの地域も、8割程度の住民が「行きやすい安全な避難場所なら避難」すると思っている。